



# 瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/>

学校だより 12月号  
令和元年11月28日  
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校  
校長 横張 由香子  
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

## 伝わるもの

校長 横張由香子

この秋も、様々な行事があり、子どもたちの成長を感じるたくさんのことに出会うことができました。

子どもたちの笑顔やチャレンジしている姿はいつ見ても新鮮でパワーを感じます。

11月17日曜日、本校校庭で実施された瀬戸ヶ谷小学校地域防災拠点防災訓練では6年生が手伝いに参加しました。役員の方々に交じって、一部を任せていただき、子どもたち同士「こんな風に声をかけたらうまくいくかも」「ちょっと場所を入れ替わらない？」など考え相談しながら進めていました。並んで順番を待っている地域の方も、子どもたちに温かな声をかけてくださいました。地域の一員として役立っていると同時に地域に守られていることが私にも伝わってきました。ありがとうございます。

4年生は区児童音楽会に希望者が出演しました。当日は寒い雨の一日でしたが、子どもたちは、いつもの優しい歌声と合奏を披露してくれました。各校に割り振られたチケットは5枚。それを引き当てた保護者の方には、寒い雨の帰り道、傘をさして歩く子どもたちの見守りに協力いただきました。温かな声援とともにありがたく思いました。

2年生はヒマラヤ杉の下の花壇に球根や花を植えたり、4年生になった子どもたちが瀬戸ヶ谷町公園（赤い屋根公園）の落ち葉はきをお手伝いしたりして、地域の一員として活躍の場をいただいています。子どもたちの活動がスムーズに進むように準備が丁寧に進められていて、限られた時間の中で、最大限に体験できるように工夫されています。12月に実施する1年生の昔遊びの会に向けての打ち合わせでも、ボランティアの中には毎年参加してくださる方もいらして、本校ボランティアのプロです。

10月末から11月にかけて2泊3日で6年生は修学旅行に行ってきました。台風の影響で、戦場ヶ原の木道は寸断されたところなどありましたが、天候にも恵まれ、水量の多い滝は見ごたえがありました。

日光東照宮見学の前日には東照宮の模型のあるだいや体験館でお話を伺うことができました。

眠り猫は当初、薄目をあけて様子をうかがっていたそうです。何度も直していく間に時代を反映して猫の表情も柔和になっているということでした。眠り猫にもいくつかの説があるそうですが「眠っているようだがその奥社を守っている」という意味をふまえて薄目を開けさせたところ、「眠り猫なのにおかしい」という声に、結局目を閉じた猫にしたといういきさつもあるそうです。また、徳川家光の時代は、東照宮などの建造物や彫刻の修繕は20年に1度くらいの割合で行われていたそうです。この20年というのは、若手がかかわった職人が中堅として、さらに親方となって修繕にかかわるための間隔ということでした。技術を伝えるためには、実際に現場で引き継いでいくことが重要であると、いまから400年ほど前の時代に確信があったことになりま

時代が変わり、今はSNSが急激に生活に入ってきています。便利さもあり若者を中心にあつという間に広まりましたが、危険度はなかなか伝わりません。学校は、危険度の認知のために授業や保護者向けの講演会など実施しています。学校とともに、家庭という現場での生活の知恵や生き方を伝えることを大切に、保護者・地域の皆様と連携しながら、よりよい環境を整えていきたいと思っています。

さて、少しばかり早めではありますが、年末のご挨拶も加えさせていただきます。

本年も様々な機会に子どもたちも職員もお世話になりありがとうございました。寒さが厳しくなりますが、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。